

公益財団法人
ワグナー・ナンドール記念財団
年 報

第13号(2023－2024年版)

ご挨拶

新型コロナウイルス禍は一応終息に向かう兆しの中、私たちは「芸術・文化はインフラ」の理念を継承し続けて、今期も終わることができたことを皆さまには心から感謝申し上げます。

活動報告の前にお知らせです。2023年7月11日に芳賀町東高橋の「ロマンの碑」が盗まれていることが発見されました。野外彫刻の盗難は海外の話かと思っていましたが、国内でも発生する時代になってきたのかと心を痛めています。一方、ハンガリーで制作されたワグナー・ナンドールとちよの一對の胸像は、10月15日にギャラリー内に設置され、雨の中、除幕式を行ってお披露目をしました。今後は来館者の皆さまを入り口でお迎えすることになります。以下、今期の活動をご報告いたします。

①春季展2023

* 五画堂ギャラリー：中村義孝彫刻展－平和な眠り－

* 4月23日 中村義孝先生によるギャラリートーク＜五角堂ギャラリー＞

* 5月14日 ミニコンサート ヴァイオリン・渡邊弘子、ギター・渡邊邦宏

* 早春B初展示（ちよの東京の自宅の部屋から移動）

②5月25日 「ドナウの叫び」朗読会 朗読・沼尾ひろ子

ヴァイオリン・北谷茉莉子 ＜東京：ハンガリー文化センター＞

③7月9日 書籍「大谷石未来へ」刊行。－大谷石の持つ限りなき潜在力－講演会＜宇都宮市南図書館会議室＞ NPO法人大谷石研究会理事長 塩田潔

④9月7日 WNの建築研究が始まる

宇都宮大学地域デザイン科学部建築都市デザイン学科講師 遠藤康一
協力 大谷石研究会

⑤10月5日 団体見学

下野市教育委員会生涯学習課 南河内公民館 社会教育指導員 早乙女努

⑥秋季展2023

* 五画堂ギャラリー：積化体【旋】－Objectlessness－

陶芸家・宮澤章、写真家・中村裕紀。展示構成・内町工場代表 佐藤一貴

⑦10月15日 秋のミニコンサート ヴァイオリン・打保早紀、マリンバ・高島聡美

上記以外にも期間外の訪問、地元の方々の訪問なども増えてきていて、これからの当財団の存在がより多くの皆さまに理解されることが期待できそうです。

今期も春・秋の展示会はもちろん、多彩な五画堂ギャラリーでの特別展示会、庭園内でのミニコンサート、さらに今年は大谷石の建物研究としてアカデミックセクターとのコラボも始まって、ギャラリー内の作品・建物・庭園の深掘りが進展しており、これからも多くの皆さまのご訪問をお待ちしています。

令和7年6月1日

理事長 秋山 孝二

設立趣意書

私は昭和44年来日し、栃木県益子町にアトリエを建設しました。昭和50年には日本に帰化しました。

来日に際し、日本に住む今世紀の文化人として社会の役に立つ為には、どのような生き方をすべきか深く考えました。

一つは、日本内外の文化人の養成所として長く使えるような仕事場、研究室、宿舎などの建物から庭に至るまで一体となった良い環境を作り上げること、一つは、彫刻の学校を卒業してもアトリエを持たない若い人々に無料で仕事場を提供し、且つ指導すること、一つは私自身が優れた作品を創る事、とりわけ長年の美術史研究に基き、世界の平和を願って制作している「哲学の庭」の群像を完成し、実現化することなどでした。そしてこれらを実行して参りました。

私は今年65歳になり、あとこの十年くらいしか仕事が出来ません。十数年来、妻と共に精神的、経済的全エネルギーを投入して作って来た設備を、我々個人の物と考えたことはありませんので、今後も私共の生きている間は、より完成に近づけ、その後もこの形で多くの人々の役に立てて欲しいと思っています。又私がライフワークとして制作している「哲学の庭」の十数体の彫刻が私共の死後、一つ一つに分散してしまうことにより、後世の人々に意味がわからなくなることを恐れています。

数年前遺言書を作った折に、私共の死後は財団法人にすることを記しましたが、法人を設立することはなかなか面倒な手続きがあり、死後にこれを誰かに託すのは迷惑になると思います。

TAO（タオ）研究所の名前の語源は中国語で、道・基礎・精神を意味します。TAOの名はこの法人の目的と性格を表現しています。即ち、この法人は究極的には、学んだ知識を基礎として、世界の平和と言う目的達成のため、日常生活の各分野で広く人々の幸せのために役に立つ人間を育成します。将来は建設的な思想を身につけ、十分な知識を学んだ教え子が、芸術家にとって最も大切な「歴史上の自分の責任」をよく自覚して、社会の多くの分野で人々の幸せのために役に立ってくれるのを願っております。

そのために、私共の持っているあらゆるエネルギーを投入したいと思います。

昭和62年4月29日

財団法人TAO 世界文化発展研究所

設立者 和久奈 南都留
和久奈 ちよ

公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団 発足

財団法人タオ世界文化発展研究所は、平成 23 年 4 月 1 日をもって「公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団」となりました。ワグナーが設立し、命名した「タオ世界文化発展研究所」の名が消える淋しさはありますが「公益財団法人」の認定を受けることは、私たち長年の願いでしたので、このたびの認定は、大きな喜びをもって受け止めました。

事務局の猛烈な頑張りに加え、側面、背面から協力してくださった方々、並びに栃木県庁担当者の理解ある対応に助けられて実現したものです。専門家ではない私たちが一切の書類を整えることが出来た喜びをかみしめております。ワグナー作品を応援してくださる多くの方々に支えられてのことだと、ほんとうにありがたく思います。

法人名に「公益」を冠することは、私たちの活動が社会的に評価され、信用を得たことを意味します。それだけに、責任も大きくなり、運営の徹底した透明化と情報公開が求められます。それと同時に財団の活動がそれらによって柔軟性を失う事のないよう、今まで通りいきいきと進んでまいらなくてはなりません。

「公益財団法人」の名に恥じない活動を、力いっぱいいつづけていくつもりです。

どうか、これまで以上のご支援を心からお願い申し上げます。

平成 23 年 4 月 1 日

設立者 和久奈 ちよ

令和5(2023)年度事業報告

I 公益目的事業

事業概要

ワグナー・ナンドールの志を継ぎ、芸術文化の調査研究を行うとともに、その作品および研究の成果を広く一般に公開し、芸術文化の振興および助成を行い、公益かつ社会に貢献する事業

(1) 展示事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが制作した芸術作品、建物および庭園ならびにワグナー・ナンドールに関する美術文献を広く一般に公開展示する美術館事業。

【事業報告】

定期展開催

アトリエ、学生寮、哲学の庭、展示会場、茶室、五角堂、庭園などの公開

各種DVDの公開(DVD-ROOMおよび学生寮にて)、室内は10名以下の制限をした。

併設展：五角堂ギャラリーにて

◇春季展2023

「中村義孝彫刻展～平和な眠り～」開催

◆特別企画 ギャラリートーク開催(4月23日14時～14時45分、五角堂ギャラリーにて)
中村義孝先生によるギャラリートークと質疑応答

ミニコンサート開催(5月14日13時半～14時45分、五角堂ギャラリーにて)

出演者：デュオ・渡邊(ヴァイオリン：渡邊弘子、ギター：渡邊洋邦)

◇秋季展2023

「Akira Miyazawa x Hironori Nakamura Exhibition 積化体[旋] -Objectlessness-」
開催

◆特別企画 ワグナー夫妻の胸像除幕式開催

(10月15日(日)13時半～15時半、庭園にて)

除幕：秋山理事長、下村徹氏、瀧沢久子氏、ナジ・アニタ氏

ミニコンサート開催

出演者：ヴァイオリン：打保早紀、マリンバ：高島聡美

【開館時間】10時～16時(15時半までに入館)

【休 館 日】定期展は月曜日、その他の期間は不定期

【料 金】大人1,500円、高校生・大学生1,000円、中学生以下は無料、団体割引あり

【広 報】DM送付および配布、ポスターの配布・掲示、HPに掲載、イベント情報のウェブサイトへの告知

令和5年度来館者数報告

年間 合計1,003人(県内64%、県外36%、うち初来館61%)

①期間別 来館者数と居住区(県内・県外)の割合

内 訳	期 間	来館者数		県内外の割合
春季展	4月15日－ 5月15日	計： 448人	県内： 243人	54%
			県外： 205人	46%
秋季展	10月15日－11月15日	計： 528人	県内： 378人	72%
			県外： 150人	28%
期間外	その他の期間	計： 27人	県内： 25人	93%
			県外： 2人	7%
総 計		合計： 1,003人	県内： 646人	64%
			県外： 357人	36%

②期間別 初来館者数の割合
※来館者の推移 グラフ参照(省略)

内 訳	期 間	初 来 館 者 数	期 間 の 割 合
春季展	4月15日－ 5月15日	270人	60%
秋季展	10月15日－11月15日	322人	61%
期間外	その他の期間	20人	74%
総 計	初来館者の総数	612人	61%

③団体の来館

- ・ 10月5日10時～11時半
下野市南河内公民館企画「花と小さなつながりと」課外講習 参加者20名
担当者：下野市教育委員会事務局生涯学習文化課3名：玉置・五月女・豊田
- ・ 3月12日(火)11時半～12時半
佐野日大付属高校とハンガリー専門学校生8名 引率の教師2名 計10名

展示事業にかかる作品および施設の保全事業

①庭園の維持・管理

- ・ 藤松正憲氏像の周辺整備
- ・ 雨水処理の工事：縁石と集水桝の設置
- ・ 散策路の整備
- ・ 胸像設置に係る周辺整備
- ・ 植栽の整理および手入れ、高木の伐採
- ・ 除草および植木の手入れ(年4回、益子町シルバー人材センターに依頼)

②建物の維持・管理

- ・ 枝折り戸の修理、取り替え
- ・ 全ての雨桶と屋根掃除
- ・ 定期展前のガラス磨きと館内掃除

③作品の維持・管理

- ・ 専門家の助言を受け、彫刻作品の洗浄およびから拭き(4月と10月、定期展開催前実施)
- ・ 定期展開催中は毎日から拭きを実施
- ・ ワグナー夫妻の胸像 富山県で手入れ

(2) 調査・研究事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールの芸術作品の調査・研究を行い、その理念および哲学を学術的に研究し、その成果を発表する事業

【事業報告】

①書籍・DVDの頒布

種 類	内 容	頒布数
書 籍	作品写真集 普及版	2
	作品写真集 限定版	0
	哲学者・彫刻家ワグナー・ナンドール(日本語訳付き)	0
	「ドナウの叫び」	22

DVD 日本語	1. ワグナー・ナンドールの世界	3
	2. 妻が語るワグナー・ナンドールとその世界	3
	3. 違いを超えて世界を結ぶ「哲学の庭」	3
DVD 英語	1. ワグナー・ナンドールの世界	3
	2. 妻が語るワグナー・ナンドールとその世界	3
	3. 違いを超えて世界を結ぶ「哲学の庭」	3

②除幕式、対談などの映像をDVDに作製し、公開した。

来館者の希望により、学生寮のDVDルームで視聴できるシステムにした。

NHK制作のワグナー・ナンドールDVD 3部作(日英)以外の制作DVDは下記のとおり

No.	タイトル・内容など	制作年
1	NHK 「益子の里の外国人彫刻家」	1986年10月撮影、NHKで放映 (VHSをDVD化)
2	ナンドール マック・イシュトヴァン氏への講義 (ハンガリー語、英語)	1995年撮影 (VHSをDVD化)
3	Wagner Nándor in HUNGARY 1997 (ハンガリー語、英語)	1997年撮影 (VHSをDVD化)
4	CORPUS HUNGARICUM (ハンガリー語、英語)	1999年撮影 (VHSをDVD化)
5	「上棟に祈る」	1999年撮影 (VHSをDVD化)
6	「禅の廊下 開館記念」	2000年撮影 (VHSをDVD化)
7	ZEN NO ROKA (ハンガリー語、英語)	2000年撮影 (VHSをDVD化)
8	FILOZOFIAI KERT (ハンガリー哲学の庭除幕式) (ハンガリー語、英語)	2001年撮影 (VHSをDVD化)
9	HOMAGE'A Wagner Nándor ワグナー・ナンドールに捧ぐ (ハンガリー語、英語)	2001年撮影 (VHSをDVD化)
10	SWEDEN 2003 Nándor's WORKS (ハンガリー語、英語)	2003年撮影 (VHSをDVD化)
11	Wagner Nándor nyomában (足跡) (ハンガリー語、英語)	2003年撮影 (VHSをDVD化)
12	Wagner Nándor "Attila"を語る (ハンガリー語、英語)	2005年撮影 (VHSをDVD化)
13	モナさんへのインタビュー (ハンガリー語、英語)	2006年撮影 (VHSをDVD化)
14	「ワグナー・ナンドールの世界 ～母子像に込めた平和への祈り」	2010年11月撮影
15	ワグナー・ナンドール「哲学の庭から」 ～中野区哲学堂公園「哲学の庭」建立1周年懇談会	2010年12月撮影
16	益子町 「ハンガリアン・コープス」除幕式 テーケシュ・ラスロー師を迎えて	2012年4月29日撮影

17	Wagner Nándor 'FÖLDANYA Budapest' ハンガリー「母子像・ふるさと」除幕式（英語）	2012年10月
18	南図書館開館2周年記念事業 対談「ワグナー・ナンドールの世界」	2013年10月27日撮影 宇都宮市立南図書館にて撮影
19	併設展「ワグナーの仕事場」 和久奈ちよ インタビュー	2014年秋撮影
20	「ハンガリー ミシュコルツ市 『母の胸に』 除幕式」	2015年6月5日 ハンガリーにて撮影
21	「ワグナー・ナンドールの故郷を訪ねて」	2015年6月 ハンガリーにて撮影
22	「益子町ゆかりの石彫」 NHK とちぎ640 マイ ビデオコーナーにて放映	2015年6月 ハンガリーにて撮影
23	栃木県女性文化懇話会 対談「志賀かう子（エッセイスト）・和久奈ちよ」	2015年7月撮影
24	ハンガリーホストタウン登録記念 「～欧州からの調べ～ ハンガリー紀行」	2017年制作
25	南図書館開館6周年記念事業 「ワグナー・ナンドール 没後20年記念 ワグナー・ナンドールの世界」	2017年7月15日撮影 宇都宮市立南図書館にて撮影
26	「バラノビチ・ノルバート大使 ワグナー・ナン ドール アートギャラリー訪問」	2017年6月28日撮影
27	没後20年記念コンサート 「声で辿る、ワグナー・ ナンドールの世界」 Noema Noesis	2017年10月9日 東京にて撮影
28	ワグナー・ナンドール没後20年記念 「母子像・ふるさと」と共に	2017年9月2日 札幌にて撮影
29	「ワグナー・ナンドール没後20年記念会」 ハンガリー アカデミア・フマーナ財団主催	2017年10月 ハンガリーにて撮影
30	ハンガリー大使館主催 「ワグナー・ナンドール没後20年記念会」	2017年11月27日 東京にて撮影
31	ワグナー・ナンドール没後20年記念企画 「哲学のまち・中野」をめざして	2017年12月9日 中野にて撮影
32	「ハンガリーの魅力って何？」 栃木県国際交流協会主催	2018年10月13日 栃木県国際交流協会にて撮影
33	南図書館開館8周年記念事業 「ハンガリーってどんな国？」	2019年7月7日 宇都宮市立南図書館にて撮影
34	「アカデミア・フマーナ（ワグナー・ナンドール作 品保全財団）設立20周年記念企画」	2019年10月2日、5日 ハンガリーにて撮影
35	「母子像」設置記念セレモニー 栃木県主催	2020年9月22日 栃木県総合運動公園にて撮影
36	「和久奈ちよ お別れの会」	2021年12月11日 宇都宮東武ホテルグランデにて撮影

37	ワグナー夫妻結婚記念日コンサート Duo Akuzawa ヴァイオリン：打保早紀 ピアノ：阿久澤政行	2022年4月29日 WNA五角堂ギャラリーにて撮影
38	南図書館開館11周年記念 ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業 「熱いバトンをつなげ！～柵の葉国体からいちご一会国体へ～」	2022年7月9日 宇都宮市立南図書館サザンクロスホールにて撮影
39	WN100記念企画 朗読「ワグナー・ナンドール物語」 朗読：沼尾ひろ子 フルート・ピアノ：高橋詩織	2022年10月23日 WNA庭園にて撮影
40	ワグナー・ナンドール アートギャラリー春季展 2023 ギャラリートーク 中村義孝先生 ミニコンサート ヴァイオリン：渡邊弘子 ギター：渡邊洋邦	WNA 五角堂ギャラリーにて 2023年4月23日撮影 2023年5月14日撮影
41	ワグナー夫妻胸像除幕式／記念コンサート ヴァイオリン：打保早紀、マリンバ：高島聡美 併設展 宮澤章／中村裕紀コラボ展	2023年10月15日 庭園にて開催 2023年10月15日 庭園にて撮影 2023年11月 五角堂ギャラリーにて撮影

③ワグナー・ナンドールの講演原稿、写真アルバム、書籍などの整理

令和4年度に保管していた写真のネガのデータ化を完了した。令和5年度はこのデータの整理を行い、利用しやすくした。

整理した写真アルバムは、展示会場2階西の部屋に展示している。また、テーマに沿って東の部屋に資料を展示したので、来館者は会期中いつでも見ることができる。

(3) 講習会・セミナー事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが研究開発したデッサン教授法を広く公開し、講習会、セミナーなどを催す事業

【事業報告】

「デッサン教授法」のDVDテキスト作成のため、専門家数名に協力を依頼した。

今後は、高橋千代子氏、島剛先生および専門家の方と内容・表現について意見交換をする予定。

(4) 助成金授与事業

【趣 旨】

栃木県の芸術活動・文化活動のさらなる普及啓蒙のため、芸術文化に携わる者に対してワグナー・ナンドール記念研究助成金を授与する事業

※隔年の事業で、今回は令和6年度実地予定。

II その他

(1) 会議実績など

開催場所：公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団事務所

会 議	開催日(または議決成立の日)	議案など
第31回理事会	令和5年5月27日	①令和4年度事業報告および決算報告 ②第27回評議員会の招集について 職務執行報告

第26回評議員会	令和5年6月17日	①令和4年度事業報告および決算報告 ②評議員の選任 職務執行報告
第32回理事会	令和6年3月16日	①令和6年度事業計画および収支予算案 ②助成事業選考委員の選定 ③第28回評議員会の招集について 職務執行報告
第27回評議員会	令和6年3月16日	①令和6年度事業計画および収支予算案 ②評議員の選任 職務執行報告

(2) 広報活動

◇9月15日午後7時～7時55分 出演者：江原評議員、スタッフ小方・西谷
パーソナリティ：鵜飼雅子

コミュニティFM放送局ミヤラジに出演して、ワグナー・ナンドールとアートギャラリーに関する説明と秋季展の告知をした。

◇印刷物(WNAはワグナー・ナンドールアートギャラリーの略称)

開催日	企画・開催地	内 容	枚 数
4月15日－5月15日	WNA春季展2023	ポスター DM	50枚 6,000枚
10月15日－11月15日	WNA秋季展2023	ポスター DM 絵はがき：夫婦	50枚 6,000枚 1,000枚
通年配布	WNA	パンフレット	春用 1,000部 秋用 1,000部
通年配布	WNA	絵はがき：哲学の庭 母子像・ふるさと 散歩の夫妻	1,000枚 1,000枚 1,000枚
年1度発行	WN財団	年報第12号	編集中(延期) 100冊

◇WEB関連

・HPほかの充実

オフィシャルホームページ、栃木の観光HP、益子観光HP、財団専用HPおよびモバイル版を相互リンクし、SNS(ソーシャル ネットワーキング サービス)とも連携。SNSはX(旧ツイッター)、フェイスブック、インスタグラムに掲載。グーグルマップの写真掲載も積極的に行った。結果としてWEBの閲覧者が増え、定期展への来館者が増加している。

(3) 他の団体との提携

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールの作品を保有している栃木県立美術館、芳賀町、益子町、東京都中野区、札幌市ならびにハンガリー、スウェーデンなどの団体と連携、協力する事業。

1) 栃木県での提携

①12月8日(金)19時～20時半

栃木県主催のハンガリーバーチャルツアー（WEB）に協力
「ハンガリー文化交流イベント」オンラインでつながる栃木県とハンガリー
役員、スタッフがZOOMにて参加

② 3月12日（火）11時半～12時半

佐野日大付属高校とハンガリー専門学校との交換留学事業に協力

生徒：日本人4名・ハンガリー人4名 引率の教師2名 計10名の来館に対応

③ 3月15日（金）16時～16時45分

栃木県庁 福田富一知事を表敬訪問

アカデミア・フマーナ（ワグナー・ナンドール作品保全財団）キシュ・レイカ理事長、
キシュ・シャンドール副理事長、当財団・秋山理事長、江原評議員、小野監事

④ 栃木県立博物館主催のPR企画に参加

ポスター・DM・パンフレット・館内案内図などの提供（令和6年3月26日～4月19日）

2) 東京都中野区および哲学堂公園との提携

① 第4回哲学堂公園フォトコンテストに協力、後援

② 「哲学の庭」広報に協力

3) 北海道札幌市との提携

① 「母子像・ふるさと」広報への協力

② ブロンズ像の手入れについて意見交換、毎年9月に有志が洗浄手入れを継続。

③ 写真撮影およびHP、SNSへの掲載

4) ハンガリーとの提携

① 5月25日（土）18時～

東京のリスト・ハンガリー文化センターにて開催の朗読会に秋山理事長とスタッフ西谷が参加

「激動の時代を生き抜いたハンガリー出身の日本人：ワグナー・ナンドール物語」

朗読：沼尾ひろ子、ヴァイオリン：北谷茉莉子

② 7月28日（日）18時～

駐日ハンガリー大使館参事官兼リスト・ハンガリー文化センター所長 ナジ・アニタ氏のFarewell Partyに参加。江原評議員、堅田評議員、小野監事

③ ワグナー・ナンドール生誕100年記念事業の「ワグナー夫妻の胸像」を設置、除幕式開催

10月15日（火）午後1時半からワグナー・ナンドール アートギャラリー庭園にて

除幕：秋山理事長、下村徹氏、瀧沢久子氏、ナジ・アニタ氏

④ リスト・ハンガリー文化センター企画の「私のブダペスト展」に写真を応募

江原評議員が2位入賞。2月8日、リスト・ハンガリー文化センターにて表彰式

5) スウェーデンとの提携

① ワグナー作品の調査、研究、保存に協力

② 広報活動への協力

2023年度決算書類（一部抜粋）

貸借対照表

2024年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	272,147	583,734	△ 311,587
流動資産合計	272,147	583,734	△ 311,587
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	30,000,000	△ 30,000,000
投資有価証券	492,000,763	462,000,000	30,000,763
建物	5,760,159	8,669,444	△ 2,909,285
土地	54,666,567	54,666,567	0
美術品	258	258	0
基本財産合計	552,427,747	555,336,269	△ 2,908,522
(2) 特定資産			
美術館事業積立資産	2,000,000	11,500,000	△ 9,500,000
普及啓発資料（寄贈 DVD）	10,214,881	10,349,878	△ 134,997
特定資産合計	12,214,881	21,849,878	△ 9,634,997
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	2	366	△ 364
構築物	19,688	36,438	△ 16,750
什器備品	236,679	418,879	△ 182,200
その他の固定資産合計	256,369	455,683	△ 199,314
固定資産合計	564,898,997	577,641,830	△ 12,742,833
資 産 合 計	565,171,144	578,225,564	△ 13,054,420
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	12,465	11,023	1,442
流動負債合計	12,465	11,023	1,442
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	12,465	11,023	1,442
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
定期預金	0	30,000,000	△ 30,000,000
投資有価証券	492,000,763	462,000,000	30,000,763
建物	5,760,159	8,669,444	△ 2,909,285
土地	54,666,567	54,666,567	0
美術品	258	258	0
美術館事業積立資産	2,000,000	11,500,000	△ 9,500,000
普及啓発資料（寄贈 DVD）	10,214,881	10,349,878	△ 134,997
指定正味財産合計	564,642,628	577,186,147	△ 12,543,519
（うち基本財産への充当額）	562,642,628	555,336,269	7,306,359
（うち特定資産への充当額）	2,000,000	10,439,876	△ 8,439,876
2 一般正味財産	516,051	1,028,394	△ 512,343
（うち基本財産への充当額）	0	0	0
（うち特定資産への充当額）	0	0	0
正 味 財 産 合 計	565,158,679	578,214,541	△ 13,055,862
負債及び正味財産合計	565,171,144	578,225,564	△ 13,054,420

令和6(2024)年度事業計画

I 公益目的事業

事業概要

ワグナー・ナンドールの志を継ぎ、芸術文化の調査研究を行うとともに、その作品および研究の成果を広く一般に公開し、芸術文化の振興および助成を行い、公益かつ社会に貢献する事業

(1)－1 展示事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが制作した芸術作品、建物および庭園ならびにワグナー・ナンドールに関する美術文献を広く一般に公開展示する美術館事業

【内 容】

- ・ワグナー・ナンドール アートギャラリーを一般に公開する。
- ・芸術文化の振興のため、併設展会場(五角堂ギャラリー)を他の団体および個人に無償提供し、併設展を開催する。
- ・春季展／併設展(五角堂ギャラリー)
「荒田秀也 絵画展 一道のア・ラ・カルト」
ミニコンサート開催 4月21日(日)午後1時半から。詳細は今後決定
- ・秋季展／併設展(五角堂ギャラリー)
「丑久保健一 彫刻展」(仮)

【期 間】

定期春季展 4月16日(火)～5月15日(水)(1カ月開催)

定期秋季展 10月15日(火)～11月15日(金)(1カ月開催)

定期展以外の期間は休館日が不定期であるため、電話・電子メールの事前予約で、庭園のみ鑑賞が可能

【開館時間】10時～16時(入館は15時半まで)

【休 館 日】定期展は月曜日、その他の期間は不定期

【料 金】大人1,500円、高校生・大学生1,000円、中学生以下は無料。団体割引あり

【広 報】DM送付・配布、ポスターの配布・掲示、HPに掲載、イベント情報のサイトへの告知、新聞・雑誌・テレビへの告知を積極的に行う。

(1)－2 作品の維持・管理

- ・庭園の手入れ 雨水の管理、エントランス手すり設置、中庭の集中手入れ、沿道の枕木の補修ほか通常手入れ
- ・彫刻作品の手入れ 現状把握と方向性の意見交換、通常手入れ

(1)－3 財団施設の維持・管理

- ・建物の保全・修理など
- ・街灯の設置 3カ所
- ・休憩所にベンチ設置
- ・設計図などの保存棚の設置計画

(2) 調査・研究事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールの芸術作品の調査・研究を行い、その理念および哲学を学術的に研究し、その成果を発表する事業

【内 容】

ワグナー・ナンドールの芸術作品の調査研究、収集を行い、研究の成果を美術文献などとして発表および頒布する。

- ・ワグナー・ナンドールのほぼ全作品を網羅した「作品写真集」を頒布
- ・「哲学者・彫刻家ワグナー・ナンドール」の日本語訳を頒布
- ・DVD「ワグナー・ナンドールの世界」日本語版、英語版を頒布
- ・DVD「妻が語るワグナー・ナンドールとその世界」日本語版、英語版を頒布
- ・DVD「違いを超えて世界を結ぶ『哲学の庭』」日本語版、英語版を頒布

【頒 布 先】

栃木県を中心に図書館、美術館、学校などに贈呈する。

個人の希望があれば原価にて頒布する。

【広 報】

展示会場にて展示をするとともにHP上で紹介し、新聞・雑誌・テレビへも積極的に情報発信をする。

(3) 講習会・セミナー事業

【趣 旨】

ワグナー・ナンドールが研究開発したデッサン教授法を広く公開し、講習会、セミナーなどを催す事業。

【内 容】

- ・ワグナーの考案した「デッサン教授法」を分かりやすくDVDにまとめる
- ・デッサン教授法の指導動画は撮影完了
- ・武蔵野大学教授 生井先生、茨城大学教授 島先生、他の協力で編集し、令和6年度完成を目指す。
- ・今後、この「デッサン教授法」を広く一般に公開し、講習会、セミナーなどを催す。
- ・「デッサン教授法」を広く一般に公開、講習することにより、デッサン技術の向上に貢献できる。

(4) 助成金授与事業

【趣 旨】

栃木県の芸術活動・文化活動のさらなる普及啓蒙のため、芸術文化に携わる者に対してワグナー・ナンドール記念研究助成金を授与する事業。

【募集要項】

公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団は、栃木県の芸術活動・文化活動のさらなる普及啓蒙のため、栃木県の芸術・文化の向上に寄与すると認められる活動を行う個人（団体）に対し、助成金を交付しており、令和6年度は次のとおり実施する。

令和4年度研究助成事業実施要綱

事業区分	助成金授与事業：芸術文化活動の振興および助成 定款第4条—（3）
対象領域	栃木県の芸術・文化の向上に寄与すると認められる活動を行う個人および団体
対 象 者	栃木県の芸術・文化の向上に寄与すると認められる活動を行う個人（団体）で次の各号に適合するものとする。 ①一定の活動実績があること ②団体にあっては、一定の規約を有し、代表者が明らかであること ③会計処理が明確であること
助成金額 使 途	30万円（1件の採択を予定） 事業に関する助成であり、団体などの管理運営に助成金を使用することはできない
予 算	30万円
募集区分	公募
選考基準	①社会に対して建設的な考え方をもち、行動ができるか ②創作活動および教育活動の実績があるか ③将来性があると認められるか
募集期間	令和6年4月1日～4月30日
募集方法	申請希望者は、当財団所定の申請用紙に必要事項を記入の上、資料を添えて当財団事務局宛てに郵送する
選考決定	5月開催予定の研究助成選考委員会において選考の上、5月開催予定の理事会の議決を経て決定する

Ⅱ その他

(1) 理事会、評議員会会議開催

- ・第33回理事会会議 令和6年5月開催
議案 ①令和5年度事業報告ならびに決算書類の承認
②第28回評議員会招集について
- ・第28回評議員会議 令和6年6月開催
議案 ①令和5年度事業報告ならびに決算書類の承認

②理事の選任

- ・第34回理事会会議 令和6年6月開催
議案 ①代表理事(理事長)の選定
- ・第35回理事会会議 令和7年3月開催
議案 ①令和7年度事業計画案ならびに予算案の承認
②第28回評議員会招集について
- ・第29回評議員会会議 令和7年3月開催
議案 ①令和6年度事業計画案ならびに予算案の承認

(2) 中期5カ年計画の策定

- ・旧タオ財団から引き継いでいる各種規程類を現状に合わせて整備する
- ・建物整備計画 策定
- ・庭園管理計画 策定
- ・作品整備計画 策定

(3) 広報活動

印刷物

- ・パンフレット作製、配布
- ・作品の絵はがき「哲学の庭」「母子像・ふるさと」「散歩の夫妻」を作製・配布
- ・館内案内図を作製、配布
- ・年報作製、配布
- ・各種取材への協力

WEB関連

- ・公式Webサイトでは、見やすさ、使いやすさとともに情報の整理、充実に努める。また、海外向け情報(英語版)を一層充実させる。
- ・財団の事業および活動はWebサイトを独立し、各サイトの相互リンクを密にすることにより、情報の整理、充実に努める。
- ・携帯版のモバイルサイトを一層充実させる。
- ・X(旧ツイッター)、フェイスブック、インスタグラムなどのソーシャルメディアを活用することで、よりタイムリーな情報発信をし、情報共有の場としてさらなる利用者の拡大を目指す。
- ・公式HPの更新

(4) 他の団体との提携

- ・ワグナー・ナンドールの作品を保有している栃木県立美術館、芳賀町、益子町、東京都中野区、札幌市ならびにハンガリー、スウェーデンなどの団体と連携、協力する。
 - ・役員などは来賓として参加したり、シンポジウムのパネリストとして出席する。
 - ・共同でホームページの公開を行う。
- ①栃木県内の各種団体との連携

- ・栃木県立美術館の移転計画案を共有し、栃木県の取り組みに協力
- ・宇都宮大学 遠藤先生の建築調査に協力
- ・芳賀町の「ロマンの碑」再建に協力
- ・ポスター、DM、パンフレット、各種資料などの提供
- ・広報活動への協力

②東京都中野区との提携

- ・哲学堂公園第4回フォトコンテストへの協力
- ・ポスター、DM、パンフレット、各種資料などの提供
- ・広報活動への協力
- ※作品の手入れ、保存に関する意見交換

③北海道札幌市との提携

- ・ポスター、DM、パンフレット、各種資料などの提供
- ・広報活動への協力
- ※作品の手入れ、保存に関する意見交換

④ハンガリー アカデミア・フマーナ(ワグナー・ナンドール作品保全財団)との提携

- 下記の各種イベントへの資料提供および助言などを行い協力する
- ・「ハンガリアン・コープス」セーケシュヘフェールバール市記念式典
 - ・ワグナーシンポジウム
 - ・「母子像・ふるさと(石彫)」ブダペスト市 記念会
 - ・ハンガリーで新たに発見されたワグナー作品の調査研究
 - ・ワグナー賞記念行事およびワグナー賞選抜
 - ・ワグナー・ナンドールの記録・録音テープなどを英語から日本語に翻訳
 - ・各種広報活動への協力
 - ・各種資料の提供

⑤スウェーデンの関係者との提携

- ・ワグナー作品の調査、研究、保存に協力
- ・広報活動への協力

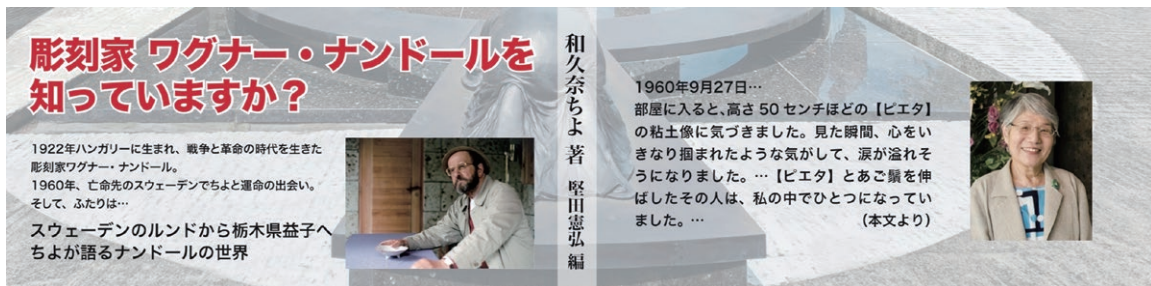
令和6(2024)年度収支予算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的 事業（公1）	収益事業	法人会計	令和6年度 予算合計	令和5年度 予算合計	増 減
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	12,344,200		1,655,800	14,000,000	300	13,999,700
基本財産運用益	12,344,200		1,655,800	14,000,000	300	13,999,700
②事業収益	1,100,000		0	1,100,000	1,100,000	0
入場料収入	1,000,000		0	1,000,000	1,000,000	0
頒布収入	100,000		0	100,000	100,000	0
③寄付金収入	2,945,728		63,557	3,009,285	16,784,111	△ 13,774,826
受取寄付金	100,000		0	100,000	0	100,000
受取寄付金振替額	2,845,728		63,557	2,909,285	16,784,111	△ 13,874,826
⑤雑収益	100		0	100	150	△ 50
受取利息	100		0	100	150	△ 50
雑収入	0		0	0	0	0
経常収益計	16,390,028		1,719,357	18,109,385	17,884,561	224,824
(2) 経常費用						
研究助成金	300,000		0	300,000	0	300,000
給料手当	2,485,000		915,000	3,400,000	3,400,000	0
通信運搬費	535,500		214,500	750,000	750,000	0
印刷費	900,000		0	900,000	750,000	150,000
消耗品費	100,000		0	100,000	70,000	30,000
事務用消耗品費	35,700		14,300	50,000	50,000	0
業務委託費	520,000		0	520,000	500,000	20,000
作品整備費	700,000		0	700,000	3,500,000	△ 2,800,000
企画費等	50,000		0	50,000	50,000	0
保険料	100,000		0	100,000	100,000	0
旅費交通費	0		150,000	150,000	200,000	△ 50,000
修繕費	2,500,000		0	2,500,000	1,160,000	1,340,000
水道光熱費	768,000		232,000	1,000,000	1,000,000	0
警備費	210,000		0	210,000	210,000	0
庭園管理費	3,600,000		0	3,600,000	2,500,000	1,100,000
清掃費	700,000		0	700,000	700,000	0
新聞図書費	5,000		0	5,000	5,000	0
交際費	20,000		0	20,000	15,000	5,000
租税公課	0		50,000	50,000	50,000	0
会議費	0		50,000	50,000	50,000	0
雑費	0		10,000	10,000	10,000	0
諸会費	0		20,000	20,000	20,000	0
減価償却費	2,999,225		109,374	3,108,599	3,047,055	61,544
予備費	15,100		0	15,100	10,450	4,650
経常費用計	16,543,525		1,765,174	18,308,699	18,147,505	161,194
当期経常増減額	△ 153,497		△ 45,817	△ 199,314	△ 262,944	63,630
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0		0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0		0	0	0	0
				0	0	0
他会計振替額				0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 153,497		△ 45,817	△ 199,314	△ 262,944	63,630
一般正味財産期首残高				△ 426,876	△ 163,932	△ 262,944
一般正味財産期末残高				△ 626,190	△ 426,876	△ 199,314
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額	△ 2,845,728		△ 63,557	△ 2,909,285	△ 16,784,111	13,874,826
当期指定正味財産増減額				△ 2,909,285	△ 16,784,111	13,874,826
指定正味財産期首残高				32,874,496	49,658,607	△ 16,784,111
指定正味財産期末残高				29,965,211	32,874,496	△ 2,909,285
III 正味財産期末残高				29,339,021	32,447,620	△ 3,108,599

「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」



編 者 堅田憲弘 (公財)ワグナー・ナンドール記念財団評議員

出版社 (株) 下野新聞社

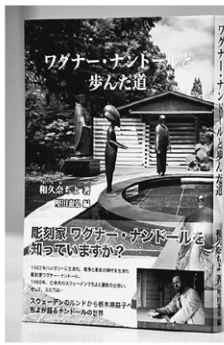
2024年9月22日 初版第一刷発行

平和な世界あふれる思い

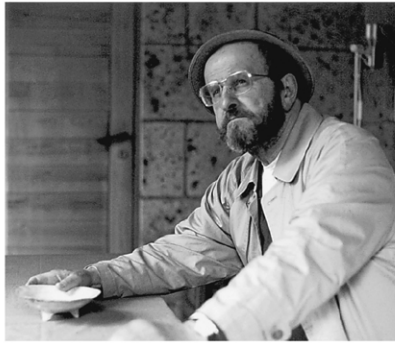
益子町にアトリエを構え、後半生を日本人として過ごしたハンガリー出身の彫刻家、ワグナー・ナンドールさん（1922〜97年、日本語名・和久奈南都留）の波乱万丈の人生をたどった本「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」Ⅱ写真Ⅱが発刊された。妻の和久奈ちよさん（2021年死去）が夫について書き残した日記や手記をまとめた。宗教や政治体制の違いを乗り越え、世界の人々が互いに尊重し合うことを願ったワグナーさんの思想が伝わる伝記となっている。

【小林祥晃】

ワグナーさんは第二 スト国立美術大学を卒業後、フタバ 業し、ハンガリーで彫



益子の彫刻家・故ワグナーさん 妻手記で「歩み」本に



刻家として歩み始め、戦後のハンガリーでは旧ソ連の影響が強まり、政治的な自由が失われ、反発する知識人や市民への弾圧が激化。反政府運動のリーダーだったワグナーさんは身の危険を感じ、56年のハンガリー動乱後にスウェーデンに亡命した。ちよさんは北海道生まれの英語教師だった。初結婚後、夫の留学



●生前のワグナー・ナンドールさん●球形の物体を囲むようにキリストや釈迦、老子などの像が並ぶ代表作「哲学の庭」＝益子町益子で（いずれもワグナー・ナンドール記念財団提供）

先であるスウェーデンに渡り、ワグナーさんに絵を習ったことがきっかけで知り合った。当時、ワグナーさんも結婚していたが、2人とも結婚生活に深刻な悩みを抱えていた。芸術に対する真摯な思いを共有する2人は、互いの離婚成立後、66年に結婚した。

スウェーデンで新生活を始めたが、ワグナーさんは「外国人」として差別的な扱いを受けることもあり、68年にちよさんと日本へ渡り、アトリエを構えた。移住後、ワグナーさんは日本国籍を取得し、社会や世界への問いかけを含んだ意欲作を次々と発表。代表作「哲学の庭」はキリストや釈迦、老子など古今東西の賢人の像を、平和の象徴である球形の物体を囲むように配置した作品。近年、母国ハンガリーでも再評価されている。栃木県益子町の思想や哲学が伝わる本となっている。下野新聞社刊。税込み1600円。

アトリエを公開 あすまで秋季展

益子町益子に残るワグナーさんのアトリエは春と秋の年に2回、「ワグナー・ナンドール・アートギャラリー」として一般公開されている。今年の「秋季展」は15日まで。

庭園に設置された代表作「哲学の庭」「母子像」などのほか、屋内で習作のスケッチやテラコッタを鑑賞できる。併設展「丑久保健一 彫刻展」も開催している。入館料は大人1500円、高校・大学生1000円、中学生以下無料。午前10時～午後4時（入場は午後3時半まで）。

彫刻家の伝記 夫人視点で

益子に移住、後進育成も

「哲学の庭」ワグナー

ハンガリー出身の彫刻家で、益子町を愛したワグナー・ナンドール(1922～97)の生涯を、ちよ夫人(2021年、91歳で死去)の視点から描いた伝記が出版された。編集を手がけた公益財団法人「ワグナー・ナンドール記念財団」(同町益子)・評議員の堅田憲弘さん(71)は「芸術を通じて平和を希求したワグナーの生きざまと、一心同体となって夫の創作活動を支えた夫人の姿を知ってほしい」と話している。(大屋敷英樹)

ワグナーは彫刻「哲学の庭」で知られる。キリスト

や釈迦、老子など世界史上の思想家や偉人のブロンズ像を円形の縁に立たせ、人が共通の法律や倫理を模索する姿勢を表現した。哲学の庭は3組あり、ハンガリーや同財団、東京・中野

に描かれている。ワグナーは第2次大戦後にソ連に制圧されたハンガリーから1956年に命からがら亡命し、スウェーデンで創作活動

を続けた。同国で絵画の勉強中だったちよ夫人は60

し、病没するまでの過程が、夫人ならではの視点で克明

に描かれている。ワグナーは第2次大戦後にソ連に制

圧されたハンガリーから1956年に命からがら亡命し、スウェーデンで創作活

動を続けた。同国で絵画の勉強中だったちよ夫人は60



ワグナー夫妻の写真パネル(1966年撮影)のかわり、編集した書籍を掲げる堅田さん(益子町のワグナー・ナンドール・アートギャラリーで)



ワグナーの代表作の一つ「哲学の庭」。キリストや釈迦、老子などの像が立っている(同アートギャラリーで)

ワグナー・ナンドール(日本名・和久奈南都留、1922～97年)ハンガリーのナジューバド市(現ルーマニア・オラデア市)で出生。豊かな自然に親しむうちに芸術に関心を抱くようになり、彫刻、絵画、建築などを学ぶ。1956年のハンガリー動乱の際にスウェーデンに亡命。その後、益子町に移住した。創作対象を徹底的に調査・研究し、写実的に表現する作風で、多くの彫刻作品を残した。

年、ワグナーのアトリエを訪ねてその作品に感銘を受け、師事するように。やがて恋に落ちて66年に結婚した。2人は日本旅行で訪れた益子町を気に入り、70年に移住。ワグナーは、縁が多く落ち着いた雰囲気のある益子町を「生まれた町を思わせる」と話し、町にとけ込もうと努力していたとい

う。創作活動の一方で、73年にアトリエの上階に学生寮を建設して後進の指導にあたり、彫刻を学ぶ生徒を累計30人受け入れた。75年に帰化し、後半生を日本人として過ごした。

書籍では、平和な生活を取り戻したワグナーが町を拠点として制作に熱心に取り組む姿も詳述されている。ライフワークとなった哲学の庭のほか、芳賀町のブロンズ製「ロマンの碑」(昨夏盗難)、若い日本人の母親をモチーフにした「母子像」(県総合運動公園)な

ど数多くの作品を残した。生活拠点でもあった記念財団には電気窯もあり、益子焼に触発されたのか、テラコッタ(粘土の素焼き)も手がけたという。ワグナーの死後、ちよ夫人が財団での活動を通じて作品の保全や普及活動、ハンガリーとの文化交流に奔走した様子も描かれた。

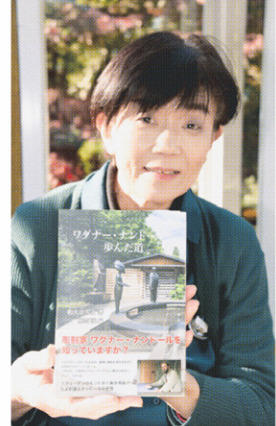
堅田さんは銀行支店長時代の2001年に、顧客として出会った、ちよ夫人と意気投合。明瞭で誠実、行動力にあふれる人だったという夫人とハンガリー旅行など家族ぐるみの付き合いをするうちにワグナーの作品や夫妻の生きざまに深い共感を覚えたという。堅田さんは「戦乱に翻弄されたワグナーの前半生を知って作品を鑑賞すれば、彼の世界観や平和への理念に触れ、新たな発見もあるのではないかと話している。

下野新聞社刊。税抜き1500円。

「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」出版記事

共に歩んだ人生 一冊に

「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」を手にする
小方さん



彫刻家ワグナーさん妻の手記 記念財団が編集、出版

益子

【益子】ハンガリー出身で、長年益子で制作活動を続けた彫刻家故ワグナー・ナンドールさんの妻故ちよさんが残した手記を、益子のワグナー・ナンドール記念財団が編集し、下野新聞社から出版した。戦争、革命、亡命という苦難を経験したワグナーさんが、ちよさんと出会い、益子など国内外で傑作を生み出していく人生の歩みと、作品に込めた平和などへの思いがつづられている。

ワグナーさんは第2次世界大戦に従軍し、死線をさまよった。ハンガリー革命を経てスウェーデンに亡命し、そこでちよさんと出会った。1970年に益子に

移住し制作に没頭し、97年に他界した。作品は県立美術館や益子駅など本県のほか、母国ハンガリーなど国内外に数多くある。80年の栃の葉国体参加章もワグナーさんがデザインした。

本のタイトルは「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」。2021年に亡くなったちよさんの手記を財団関係者がひもとき編集した。2人の波乱に満ちた人生や身近な生活のこま、作品の制作過程などがちよさんの目線で描かれている。

ちよさんは制作中も常にそばで支えた。ワグナーさんの代表作である世界の賢人や宗教の開祖が球体を囲む群像彫刻作品「哲学の庭」など、作品に表現された世との強い絆が透ける。財団事務局の小方良子さん(71)は「ワグナー・ナンドールの作品は平和が揺らいでいる今の時代だから

こそ求められている。2人の深い愛を感じてほしい」と話す。A5判、192ページ。1650円。財団0285・72・9866。(藤井達哉)

下野新聞 2024年12月3日付24面 県央・宇都宮版

「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」 広告事例



Shimotsuka Books 下野新聞社の本。

ワグナー・ナンドールと歩んだ道

彫刻家ワグナー・ナンドールを知っていますか？

1922年ハンガリーに生まれ、戦争と革命の時代を生きた彫刻家ワグナー・ナンドール。1960年、亡命先のスウェーデンで日本人のちよと運命の出会い。そして、ふたりは・・・

好評発売中!!

1960年9月27日…
部屋に入ると、高さ50センチほどの【ピエタ】の粘土像に気づきました。見た瞬間、心をいきなり刺されたような気がして、涙が溢れそうになりました。…【ピエタ】とあご鬚を伸ばしたその人は、私の中でひとつになっていました。… <本文より>



ワグナー・ナンドールと歩んだ道

和久奈ちよ 著
堅田憲弘 編

彫刻家 ワグナー・ナンドールを知っていますか？

1922年ハンガリーに生まれ、戦争と革命の時代を生きた彫刻家ワグナー・ナンドール。1960年、亡命先のスウェーデンで日本人のちよと運命の出会い。そして、ふたりは…スウェーデンのルンドから栃木県益子へちよが語るナンドールの世界

わぐな
和久奈ちよ 著 堅田憲弘 編
A5判・並製・192頁
定価 1,650円 ISBN978-4-88286-877-4

お求めは県内各書店、下野新聞取り扱い新聞販売店へ

下野新聞社 〒320-8686 栃木県宇都宮市昭和 1-8-11 TEL028-625-1135 FAX028-625-9619 <https://www.shimotsuka.co.jp/> X sntk_books

下野新聞 2024年11月6日付20面 県央・宇都宮版

※雑報広告 突出し(モノクロ・フルカラー)
記事(モノクロ・フルカラー)
記事下広告 5段1/2(モノクロ・フルカラー)
3段1/2(モノクロ)

現在も紙面には何度も掲載されています。

ワグナー・ナンドール (Wagner Nándor 和久奈 南都留) の足跡

- 1922 年 10月7日、ハンガリー・トランシルバニア地方ナジュヴァラド市（現在のルーマニア・オラデア市）で誕生。
- 1939 年 理工科高校で建築学を学ぶ。
父から「老子の書」を渡され、生涯にわたり老子の思想の深い影響を受ける。
- 1940 年 ブダペスト国立美術大学に入学、彫刻を専攻。同時に国立大学医学部に在籍、解剖学を学ぶ。
- 1941 年 第二次世界大戦に志願、重傷を負う。
- 1947 年 ブダペスト国立大学助手となる。
国立博物館に勤務し、美術史、考古学、民俗学などを研究。
- 1949 年 第二次世界大戦後の博物館復興のために研究部門の責任者に選ばれ、新築、改築の設計および新しい陳列方式を考案。
- 1951 年 ハンガリーにスターリン時代が訪れ、公職から追放。
彫刻家としての制作活動に入り、国立彫刻展第一席入賞「3人の子供」などの作品を制作。
- 1956 年 ハンガリー動乱の際、文化人代表に選ばれて後にスウェーデンに亡命。
ハンガリー時代の作品は友人により密かに国立博物館に保管。
- 1957 年 スウェーデン・ルンド市にアトリエを構え、制作活動を再開。
- 1961 年 長年研究していた分析美術史を基に哲学理論を完成。
ストラ・フィスカレ・ガータンにアトリエを移す。
- 1963 年 ステンレス鑄造の研究に成功。世界初のステンレス鑄造製の大型モニュメント「エンジェル」をスウェーデン・ルンド市に建立。
- 1966 年 秋山ちよと結婚（4月29日）。スウェーデンにて鑄造ステンレス製モニュメント数作、独自に考案したペーパー・フレスコ画数十点などを含め約200点を制作。
- 1969 年 スウェーデンを離れ、移住のため来日。
- 1970 年 栃木県芳賀郡益子町にアトリエを建設。
- 1972 年 栃木県立美術館にブロンズ像「母子像」を設置。
- 1974 年 モニュメント「道祖神像」（鑄造ステンレス製）、「虹の噴水」（ステンレス製）を旧成田ビューホテル（現アートホテル成田）敷地に建立。
栃の葉国体（第35回国民体育大会1980）の参加章などを制作。
- 1975 年 日本へ帰化。
- 1976 年 栃木県芳賀郡芳賀町に「ロマンの碑」を設置。
- 1977 年 「哲学の庭」制作を開始。
- 1979 年 栃の葉国体（第35回国民体育大会1980）のメダル原型を制作。
- 1983 年 栃木県立美術館の庭を設計し、御影石製「母子像・ふるさと」を設置。
- 1985 年 アトリエにて展覧会を開催（4月29日～5月1日）。

- 1987 年 財団法人タオ世界文化発展研究所を設立し、初代理事長に就任。
- 1994 年 「哲学の庭」 3 組 28 体の作品像をブロンズ製で完成。
- 1997 年 11 月 15 日、永眠 (享年 75 歳)。
- 1999 年 ハンガリー・セーケシュフェーヘルヴァール市にモニュメント「ハンガリアン・コープス像」を建立。ハンガリー・セーケシュフェーヘルヴァール市より名誉市民章を授与。
- 2000 年 「ワグナー・ナンドール アートギャラリー」を開館。ナンドールが設計した「禅の廊下」の建物が完成。財団法人タオ世界文化発展研究所の作品展示室「禅の廊下」が開館。ワグナーがデザインしたモニュメント「アーロム・夢」を真岡鐵道益子駅前に 12 月 31 日建立。
- 2001 年 ハンガリー・ブダペスト市ゲレルトの丘に「哲学の庭」を建立。
- 2005 年 故郷のナジュヴァラド市に「詩人ヨーゼフ・アティラ像」を設置。
- 2006 年 伝記「哲学者・彫刻家 ワグナー・ナンドール」をハンガリーで発刊。
(株)NHKエデュケーショナルがDVD「ワグナー・ナンドールの世界」(17 分)を制作。
- 2007 年 日本で「ワグナー・ナンドール作品写真集」を発刊。
- 2008 年 「ドナウの叫び ワグナー・ナンドール物語」(下村徹著)を(株)幻冬舎より発刊。
- 2009 年 栃木県さくら市ミュージアムにて企画展を同時開催。
ハンガリーで発刊された伝記「哲学者・彫刻家 ワグナー・ナンドール」の日本語訳を発刊。
東京都中野区の哲学堂公園に「哲学の庭」を建立、12 月 4 日に除幕式。
- 2011 年 公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団に移行認定され設立。
北海道札幌市の円山公園に「母子像・ふるさと」を設置。
- 2012 年 ハンガリー・ブダペスト市にワグナーがデザインした「母子像・ふるさと」の石彫を設置。
テーケシュ・ラスロー大司教を迎え、益子のアトリエで「ハンガリアン・コープス」(ブロンズ像)を除幕。ハンガリー・ブダペスト市で「母子像・ふるさと」(石彫)を除幕。
- 2013 年 動乱下のハンガリー聖イシュトバン王博物館地下室に保管されていたワグナー作品数十点が新たに発見され、同博物館で展覧会開催。ヨーロッパ・ハンガリーの文化功労章を受賞。
- 2015 年 ハンガリー・ミシュコルツ市に「母の胸に」(石彫)を設置。
- 2016 年 モニュメント「アーロム・夢」をワグナー・ナンドール アートギャラリー敷地内に設置。
- 2017 年 ワグナー・ナンドール没後 20 年。没後 20 年を記念して益子町、宇都宮市、札幌市、ハンガリー(ブダペスト)、東京都の 6 カ所で、記念展(春・秋)、演奏会、講演会、記念祭、メモリアルコンサート、シンポジウムを開催。
- 2020 年 栃木県総合運動公園に 1972 年制作の「母子像」を再建。
- 2021 年 ハンガリー・ドゥナウイヴァーロシュ市に「モーゼ像」を建立。和久奈ちよ、ハンガリーからハンガリー国騎士十字功労勲章を受章。10 月 29 日、妻・ちよ永眠 (享年 91 歳)。
- 2022 年 ワグナー・ナンドール生誕 100 年記念展をハンガリー現代美術館で開催。
いちご一会とちぎ国体への協力により、財団に益子町から感謝状贈呈。
- 2023 年 ワグナー夫妻の胸像を庭園入り口に設置し、秋季展初日に除幕式を挙げる。
- 2024 年 和久奈ちよ著、堅田憲弘編「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」を出版。

2024 Wagner Nándor ワグナー・ナンドール春季展

ワグナー・ナンドール 春季展

併設展 荒田秀也 絵画展「道のア・ラ・カルト」

2024年 4月16日[火]－5月15日[水]

開館時間：午前10時－午後4時（入館は3時半まで） 休館日：月曜日

入館料：大人 1,500円／高校・大学生 1,000円（中学生以下無料） ※併設展のみ鑑賞の場合は無料

ワグナー・ナンドール アートギャラリー

栃木県芳賀郡益子町益子4338 Tel: 0285-72-9866
ホームページアドレス <http://wagnermandor.com>



併設展 荒田秀也 絵画展「道のア・ラ・カルト」

■会 期 2024年4月16日[火]－5月15日[水] 27日間

■開館時間 午前10時－午後4時（入館は午後3時半まで）

■休 館 日 月曜日

■入 館 料 大人1,500円、高校・大学生1,000円（中学生以下は無料）

■展示内容 禅の廊下のほか、展示室では常設のブロンズ、テラコッタ作品やペン画・グワッシュなど約90点を展示。五角堂ギャラリーでは若い頃から源郷探しの旅を続けた荒田氏の作品を展示。モンゴル草原の星空を描いた大作「星降る刻」、白黒アニマル柄「タペストリー」など20点展示。

2024 Wagner Nándor ワグナー・ナンドール秋季展



ワグナー・ナンドール 秋季展

併設展 丑久保健一 彫刻展

2024年10月15日[火] > 11月15日[金]

開館時間：午前10時～午後4時（入館は3時半まで） 休館日：月曜日
入館料：大人 1,500円／高校・大学生 1,000円（中学生以下無料） ※併設展のみ鑑賞の場合は無料

ワグナー・ナンドール アートギャラリー | 栃木県芳賀郡益子町益子4338 Tel: 0285-72-9866
ホームページアドレス <http://wagnernandor.com>

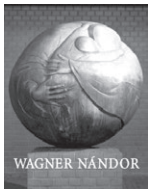


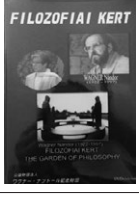
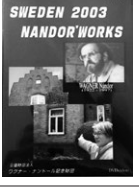
(株) Salsale

併設展 丑久保健一 彫刻展

- 会 期 2024年10月15日[火]～11月15日[金] 28日間
- 開館時間 午前10時～午後4時(入館は午後3時半まで)
- 休 館 日 月曜日
- 入 館 料 大人1,500円、高校・大学生1,000円(中学生以下は無料)
- 展示内容 展示室では常設のブロンズ、テラコッタ作品、ペン画・水彩画に加え、初展示の「弧」も含め85点を展示。五角堂ギャラリーでは櫨を使った丑久保氏の彫刻や写真パネルなど26点を展示。代表作の一つ、108個で構成された「1・0・∞のボール 陸のピース」の一部も目を引いた。

ワグナー・ナンドールに関する出版物、映像作品

種 類	題 名	発刊の年	
写真集	ワグナー・ナンドール 作品写真集（限定版） 2冊組み 表紙:藍染手織り	2007年4月	
	ワグナー・ナンドール 作品写真集（普及版） 2冊組み 表紙:布張り	2007年4月	
	「哲学者・彫刻家 ワグナー・ナンドール」 ハンガリーで出版（ハンガリー語、英語） （日本語訳付き）	2006年 2009年	
	A SZÉKESFEHÉRVÁRI „Wagner-SZOBORLELET” セーケシュヘフェールバールにおけるワグ ナー彫刻作品 （ハンガリー語）	2013年	
伝 記	「ドナウの叫び・ワグナー・ナンドール物語」 下村 徹 著（幻冬舎）	2008年11月	
漫 画	「BAR レモン・ハート」 第26巻 古谷三敏 著（双葉社）	2009年10月	
映 像	1. 益子の里の外国人彫刻家 （日本語）	1986年	
	2. ナンドール マック・イシュトヴァン氏への 講義 （ハンガリー語、英語）	1995年	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	3. Wagner Nándor in HUNGARY 1997 (ハンガリー語、英語)	1997年	
	4. CORPUS HUNGARICUM (ハンガリー語、英語)	1999年	
	5. 上棟に祈る (日本語)	1999年	
	6. 禅の廊下 開館記念 (日本語)	2000年	
	7. ZEN NO ROKA (ハンガリー語、英語)	2000年	
	8. FILOZOFIAI KERT (ハンガリー 哲学の庭除幕式) (ハンガリー語、英語)	2001年	
	9. HOMMAGE'A Wagner Nándor ワグナー・ナンドールへ捧ぐ (ハンガリー語、英語)	2001年	
	10. SWEDEN 2003 Nándor'WORKS (ハンガリー語、英語)	2003年	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	11. Wagner Nándor nyomában(足跡) (ハンガリー語、英語)	2003年	
	12. Wagner Nándor “Attila”を語る (ヨーゼフ・アティラ) (ハンガリー語、英語)	2005年	
	13. モナさんへのインタビュー (ハンガリー語、英語)	2006年	
	14. ワグナー・ナンドールの世界 (日本語) (英語)	2006年 5 月 2012年 4 月	
	15. 「ワグナー・ナンドール」の世界 ～母子像に込めた平和への祈り～ (日本語)	2010年11月	
	16. ワグナー・ナンドール「哲学の庭」から ～中野区哲学堂公園「哲学の庭」 建立 1 周年懇談会～ (日本語)	2010年12月	
	17. 妻が語るワグナー・ナンドールとその世界 (日本語) (英語)	2011年10月 2012年 4 月	
	18. 違いを超えて世界を結ぶ「哲学の庭」 (日本語) (英語)	2011年10月 2012年 4 月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	19. ハンガリアン・コープス除幕式 テーケシュ・ラスロー師を迎えて (日本語)	2012年 4 月	
	20. Wagner Nándor 'FÖLDANYA Budapest' ハンガリー母子像・ふるさと除幕式 (英語)	2012年10月	
	21. 南図書館開館2周年記念 ワグナー・ナンドールの世界 (日本語)	2013年10月	
	22. HU受賞式 (ハンガリー語、英語)	2013年	
	23. 2014年10月15日～11月15日開催 ワグナー・ナンドール秋季展 併設展「ワグナーの仕事場」 (日本語)	2014年12月	
	24. 「母の胸に」石彫建立除幕式 ～ワグナー・ナンドール作品 ミシュコルツ市 看護専門学校において (日本語)	2015年 6 月	
	25. ワグナー・ナンドールの故郷を訪ねて (日本語)	2015年 6 月	
	26. NHK とちぎ640「マイビデオコーナー」 益子町ゆかりの石彫 撮影:江原稔さん(宇都宮) (日本語)	2015年 6 月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	27. 第194回栃木県女性文化懇話会 ゲスト対談 ワグナー・ナンドール記念財団理事 和久奈ちよ、エッセイスト 志賀かう子 (日本語)	2015年 7 月	
	28. ハンガリーホストタウン登録記念 ～欧州からの調べ～ ハンガリー紀行 (日本語)	2017年	
	29. 南図書館開館 6 周年記念事業 ワグナー・ナンドール没後20年記念 ワグナー・ナンドールの世界 (日本語)	2017年 7 月	
	30. Visitors to the Norbert PARANOVICS, PhD Ambassador Wagner Nándor Art Gallery Mashiko (日本語)	2017年	
	31. 声で辿る、ワグナー・ナンドールの世界 没後二〇年記念コンサート Noema Noesis 軌道 (日本語)	2017年10月	
	32.ワグナー・ナンドール没後20年記念 「母子像・ふるさと」と共に (日本語)	2017年 9 月	
	33.ワグナー・ナンドール没後20年記念企画 「哲学のまち・中野」をめざして (日本語)	2017年12月	
	34. EMLÉKEST Wagner Nándor halálának 20. Évfordulója alkalmából Corpus Hungaricum koszorúzás(2017) 「ワグナー・ナンドール没後20年記念会」 (ハンガリー語、英語、日本語)	2017年12月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	35. 2017年11月27日開催 ハンガリー大使館主催 「ワグナー・ナンドール 没後20年記念会」 (日本語)	2019年 6 月	
	36. 2018年10月13日開催 「ハンガリーの魅力って何？」 (日本語)	2019年 1 月	
	37. 2019年10月 2 日、5 日開催 「アカデミア・フマーナ(ワグナー・ナンドール 作品保全財団)設立20周年記念企画」 (ハンガリー語、英語、日本語)	2019年12月	
	38. 2020年 9 月22日開催 ワグナー・ナンドール作 「母子像」設置記念セレモニー (日本語、DVD・Blu-ray盤)	2020年11月	
	39. 2021年12月11日開催 公益財団法人ワグナー・ナンドール記念 財団主催 和久奈ちよ お別れの会 (日本語)	2022年1月	
	40. 2022年 4 月29日開催 ワグナー夫妻結婚記念日コンサート (日本語)	2022年 6 月	
	41. 2022年 7 月 9 日開催 南図書館開館11周年 ワグナー・ナン ドール生誕100年 記念事業 熱いバトンをつなげ！ ～栃の葉国体からいちご一会国体へ～ (日本語)	2022年 8 月	
	42. 2022年10月23日開催 ワグナー・ナンドール秋季展 朗読会 ワグナー・ナンドール物語 (日本語)	2022年12月	

種 類	題 名	発刊の年	
映 像	43. 2022年10月7日～2023年2月5日開催 ワグナー・ナンドール生誕100年記念 ハンガリー編 A BÖLCSELET SZOBRAŚZA THE PHILOSOPHER SCULPTOR (日本語)	2022年12月	
	44. 2023年 5 月14日開催 ワグナー・ナンドール アートギャラリー 春季展2023・併設展 中村義孝先生によるギャラリートーク ヴァイオリンとギターミニコンサート (日本語)	2023年6月	
	45. 2023年10月15日開催 ワグナー夫妻胸像除幕式 2023年秋季展・併設展 マリンバ・ヴァイオリンによる記念コ ンサート 宮澤章／中村裕紀コラボ展 (日本語)	2023年12月	
	46. 2024年 4 月21日開催 ワグナー・ナンドールアートギャラリー 春季展2024併設展 併設展 荒田秀也 絵画展～道のアラカルト～ 春のミニコンサート 2024.4.21(日) (日本語)	2024年6月	
自叙伝	「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」 和久奈ちよ著 堅田憲弘編 (下野新聞社)	2024年9月	

ワグナー・ナンドールに関する新聞・書籍記事、ラジオ放送

種 類	見出し	掲載日・掲載面	発行元
新 聞	ロマンの碑、作陶で復元へ 同じ大きさ、デザイン 芳賀町 予算計上、CFも	2024年2月25日 24面 地域 全県ワイド版	下野新聞社
	週刊情報ワイド 4／13～19日 美術 その他	2024年4月12日 18面	下野新聞社
	行ってみよう！イベント 【益子】 ▼ワグナー・ナンドール春季展	2024年4月17日 4面 Aspo plus vol.1032	下野新聞社
	イベントガイド ▼ワグナー・ナンドール春季展	2024年4月26日 26面 地域 県央・宇都宮版	下野新聞社
	盗難被害、芳賀「ロマンの碑」 復元制作の情熱に触れ 作家藤原さん陶房見学会	2024年7月14日 25面 地域 全県ワイド版	下野新聞社
	芳賀町 ロマンの碑 復元へCF 昨年7月、公園から盗難 作者と親交 藤原郁三さん制作担当	2024年5月19日 24面 地域 全県ワイド版	下野新聞社
	ロマンの碑 復元見学を 来月、陶房など巡る会 芳賀町、費用CF促進へ	2024年6月18日 21面 地域 県央・宇都宮版	下野新聞社
	週刊情報ワイド 10月12～18日 美術 工芸・彫刻 ▼ワグナー・ナンドール秋季展	2024年10月11日 17面	下野新聞社
	行ってみよう！イベント 【益子】 ▼ワグナー・ナンドール秋季展	2024年10月16日 7面 Aspo plus vol.1057	下野新聞社
	益子で丑久保健一彫刻展 大胆で緻密 代表作並ぶ	2024年10月19日 21面 文 化	下野新聞社
	「平和な世界」あふれる思い 益子の彫刻家・故ワグナーさん 妻手記で「歩」本に	2024年11月14日 17面 毎日新聞栃木版	毎日新聞社 東京本社
	彫刻家の伝記 夫人視点で 「哲学の庭」ワグナー 益子に移住、後進育成も	2024年11月29日 23面 読売新聞地域版(栃木1)	読売新聞 東京本社
	共に歩んだ人生 一冊に 彫刻家ワグナーさん妻の手記 記念財団が編集、出版 益子	2024年12月3日 24面 地域 県央・宇都宮版	下野新聞社
種 類	書籍名・帯	発刊日、著者・編者名	出版社名
書 籍	「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」 スウェーデンのルンドから栃木県益子へちよが 語るナンドールの世界	2024年9月22日 和久奈ちよ著、堅田憲弘編	下野新聞社
	「地球の歩き方 J19」 栃木 2025～2026年版 益子の雑木林に囲まれた丘の上の美術館 (MAP 別冊 P.19～D3)	2024年10月15日 エリア5 真岡・益子エリア 益子町 主な見どころ 331ページ	(株)地球の歩き方 発売元 Gakken
	「WAGNER NANDOR NAGYVARADROL MASIKOIG」 邦題／Wagner Nandor ナジュバラドから益子へ	2024年12月1日 ハンガリー語版	
種 類	見出し	放送日・番組名	放送局名
ラ ジ オ	8：35～ 「とちぎ・まちネタ」 芸術の秋～益子町でアート鑑賞～ 小野訓啓が和久奈ちよ著「ワグナー・ナンドールと歩んだ道」を紹介	2024年10月2日 Morning Sugar	エフエム栃木 RADIO BERRY
	8：22～ 「Morning Times」 毎日新聞宇都宮支局長・小林祥晃記者 ワグナー・ナンドールの経歴、作品および秋季展を紹介	2024年10月31日 Morning Sugar	エフエム栃木 RADIO BERRY

定 款

第 1 章 総 則

(名称)

第 1 条 この法人は公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団と称する。

(事務所)

第 2 条 この法人は、主たる事務所を栃木県芳賀郡益子町に置く。

2 この法人は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に置くことができる。これを変更又は廃止する場合も同様とする。

第 2 章 目的及び事業

(目的)

第 3 条 この法人は、彫刻家ワグナー・ナンドールの志を継ぎ、芸術文化の振興及び研究、助成、保存を行い、その成果を発表、展示し、もって栃木県をはじめとする芸術文化の振興、発展に貢献することを目的とする。

(事業)

第 4 条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 芸術文化の調査研究、研修、講習等の実施及び芸術教育施設の整備。
 - (2) 芸術作品の収集、整理及び保存並びに公開活用、展観。
 - (3) 芸術文化活動の振興及び助成。
 - (4) 芸術文化に関する調査研究結果の刊行。
 - (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業。
- 2 前項各号の事業は、栃木県において行うものとする。

第 3 章 資産及び会計

(基本財産)

第 5 条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表第 1 及び別表第 2 の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、評議員会において別に定めるところにより、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ第 15 条及び第 18 条に定める評議員会の決議を得なければならない。

3 別表第 2 の財産は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 16 号に定める公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産とする。

(事業年度)

第 6 条 この法人の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第 7 条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事業所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第 8 条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）

(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第 1 号、第 3 号、第 4 号及び第 6 号の書類については、定時評議員会に提出し、第 1 号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第 1 項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に 5 年間、また従たる事務所に 3 年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

（公益目的取得財産残額の算定）

第 9 条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 48 条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第 3 項第 4 号の書類に記載するものとする。

第 4 章 評議員

（評議員）

第 10 条 この法人に評議員 3 名以上 10 名以内を置く。

2 評議員のうち 1 名を評議員会議長とする。

（評議員の選任及び解任）

第 11 条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 179 条から第 195 条までの規定に従い、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

(1) 各評議員について、次のイからハに該当する評議員の合計数が評議員の総数の 3 分の 1 を超えないものであること。

イ 当該評議員及びその配偶者又は 3 親等内の親族

ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者

ハ 当該評議員の使用人

ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であつて、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持している者

ホ ハ又はニに掲げる者の配偶者

ヘ ロから二までに掲げる者の3親等内の親族であつて、これらの者と生計を一にする者

(2) 他の同一の団体（公益法人を除く）の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。

イ 理事

ロ 使用人

ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人）又は業務を執行する社員である者

二 次に掲げる団体においてその職員（国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く）である者

① 国の機関

② 地方公共団体

③ 独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人

④ 国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人

⑤ 地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人

⑥ 特殊法人（特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人であつて、総務省設置法第4条第15号の規定の適用を受けるものをいう）又は認可法人（特別の法律により設立され、かつ、その設立に関し行政官庁の認可を要する法人をいう）

3 この法人の評議員のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊な関係がある者の合計数、又は評議員のいずれか1人及びその親族その他特殊な関係がある者の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることにはならない。また、評議員には、監事及びその親族その他特殊な関係がある者が含まれてはならない。

（任期）

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

（評議員に対する報酬等）

第13条 評議員は無報酬とする。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払をすることができる。

3 前項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

第5章 評議員会

（構成）

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

2 評議員会の議長は、評議員会において選出する。

(権限)

第 15 条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第 16 条 評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会の2種とする。

2 定時評議委員会は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催する。

3 臨時評議員会は、必要がある場合には、いつでも開催することができる。

(招集)

第 17 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第 18 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第 20 条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第 19 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には議長及び会議に出席した評議員のうちから、その会議において選任された議事録署名人2名以上が記名押印をしなければならない。

第6章 役員

(役員の設置)

第20条 この法人に、次の役員を置く。

(1) 理事 3 名以上 10 名以内

(2) 監事 2 名以上 3 名以内

2 理事のうち1名を理事長、1名を副理事長とする。

3 前項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副理事長をもって同法第 197 条において準用する同法第 91 条第 1 項第 2 号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第21条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 代表理事である理事長、業務執行理事である副理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

3 この法人の理事のうちには、理事いずれか 1 人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の 3 分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 この法人の監事には、この法人の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む）及び評議員（親族その他特殊の関係がある者を含む）並びにこの法人の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第22条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副理事長は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び副理事長は、毎事業年度に 4 箇月を超える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第23条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第24条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第 20 条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員の解任)

第25条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(報酬等)

第 26 条 理事及び監事は、無報酬とする。

2 理事及び監事には、その職務を行うために要する費用の支払をすることができる。

3 前項に関し必要な事項は、評議員会の決議により別に定める役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程による。

第 7 章 理事会

(構成)

第 27 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第 28 条 理事会は、次の職務を行う。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長及び副理事長の選定及び解職

(招集)

第 29 条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第 30 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 31 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には出席した理事長及び監事が記名押印する。

3 第 29 条第 2 項の規定により理事会が招集された場合は、出席した理事及び監事が第 1 項の議事録に記名押印する。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 32 条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 11 条についても適用する。

(解散)

第 33 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第 34 条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から 1 箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は

国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第 35 条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、国若しくは地方公共団体又は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人であって租税特別措置法第 40 条第 1 項に規定する公益法人等に該当する法人に贈与するものとする。

第 9 章 選考委員会及び選考委員

(選考委員会)

第 36 条 この法人に、ワグナー・ナンドール記念研究助成金選考委員会（以下「選考委員会」という）を置く。

2 選考委員会は、第 4 条に掲げる助成の対象となるものについて、理事長の諮問を受け、答申する。

3 選考委員会の運営について必要な事項は、理事会の決議により別に定める選考委員会規程による。

(選考委員)

第 37 条 前条の選考委員会を構成するため、選考委員若干名を置く。

2 選考委員は、学識経験者のうちから理事会で選出し、理事長がこれを委嘱する。

3 理事及び評議員は、選考委員を兼ねることができる。ただし、理事又は評議員を兼ねる選考委員の合計数は、選考委員の総数の 3 分の 1 を超えてはならない。

4 選考委員の任期は、選任後 2 年とし、再任を妨げない。

5 選考委員には、その職務を行うための費用を弁償することができる。

第 10 章 事務局

(設置等)

第 38 条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長及び重要な職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

第 11 章 情報公開及び個人情報の保護

(情報の公開)

第 39 条 この法人は、公正で開かれた活動を推進するため、その活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開するものとする。

2 情報公開に関する必要な事項は、理事会の議決により別に定める情報公開規程による。

(個人情報の保護)

第 40 条 この法人は、業務上知り得た個人情報の保護に万全を期すものとする。

2 個人情報の保護に関する必要な事項は、理事会の議決により別に定める個人情報規程による。

第12章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、官報に掲載する方法による。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の理事長（代表理事）は和久奈ちよとする。
- 4 この法人の最初の副理事長（業務執行理事）は秋山孝二とする。
- 5 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。
堅田 憲弘
北山 眞也
下村 徹
高橋 千代子
瀧沢 久子
日下田 實
- 6 この法人の最初の理事は、次に掲げる者とする。
秋山 孝二
小菅 充
志賀 かう子
村山 壽一
和久奈 ちよ
キッシュ シャンドール
- 7 この法人の最初の監事は、次に掲げる者とする。
薄羽 豊典
北上 敏栄

寄附金等取扱規程

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団（以下「この法人」という）が受領する寄附金に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- ①一般寄附金 広く一般社会の個人又は団体から受領する、使途を特定しない寄附金
- ②特定寄附金 広く一般社会の個人又は団体から受領する、使途を特定する寄附金
- 2 この規程における寄附金には、金銭のほか金銭以外の財産権を含むものとする。

(寄附金の募集)

第3条 この法人は常時一般寄附金、特定寄附金を募ることができる。

- 2 一般寄附金は、寄附金総額の50%以上を定款第4条の公益目的事業に使用することとして募集しなければならない。
- 3 寄附金が下記各号に該当する場合若しくはそのおそれがある場合には、当該寄附金を辞退しなければならない。
- ①国、地方公共団体、公益法人及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に規定する者以外の個人又は団体がその寄附により、特別の利益を受ける場合
- ②寄附者がその寄附をしたことにより、税の不当な軽減をきたす結果となる場合
- ③寄附金の受け入れに起因して、この法人が著しく資金負担が生ずる場合
- ④前3号に掲げる場合のほか、この法人の業務の遂行上支障があると認められるもの及びこの法人が受け入れるには社会通念上不相当と認められる場合

(特別寄附金)

第4条 この法人は個人又は団体より特定寄附金を受領することができる。

- 2 前項の寄附金について寄附者から資金使途及び寄附金の管理運用方法について条件が付されているときは、その受領につき理事会の承認を求めなければならない。

(受領書等の送付)

第5条 一般寄附金又は特定寄附金を受領したときは、遅滞なく礼状、受領書を寄附者に送付するものとする。

- 2 前項の受領書には、この法人の公益目的事業に関連する寄附金である旨、寄附金額及びその受領年月日を記載するものとする。

(情報公開)

第6条 この法人が受領する寄附金については、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第22条第5項各号に定める事項について、事務所への備え置き及び閲覧等の措置を講じるものとする。

(個人情報保護)

第7条 寄附者に関する個人情報については、別に定める個人情報保護規程に基づき、細心の注意を払って情報管理に努めるものとする。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、理事会の議決を経て行う。

附則

- 1 この規程の施行に関し、必要な事項は別に定める。
- 2 この規程は、平成24年6月2日から施行する。（平成24年6月2日理事会議決）

公益財団法人 ワグナー・ナンドール記念財団 役員名簿

理 事（6名）

（敬称略・50音順）

（令和7年6月1日現在）

	氏 名	常 勤 / 非常勤
理事長	秋 山 孝 二	非常勤
	位 田 美 枝	非常勤
	村 山 壽 一	非常勤
	茂 呂 和 巳	非常勤
	山 中 茂 樹	非常勤
	キ シ ュ シ ャ ン ド ー ル	非常勤

評議員（5名）

	江 原 稔	非常勤
	堅 田 憲 弘	非常勤
	潮 見 寿 子	非常勤
	藤 田 淑 子	非常勤
	藤 原 宏 史	非常勤

監 事（2名）

	小 野 訓 啓	非常勤
	北 上 敏 栄	非常勤



公益財団法人

ワグナー・ナンドール記念財団

Wagner Nándor Foundation

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子4338

TEL:0285-72-9866 FAX:0285-72-3487